

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：24009

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇「話したくなる・伝えたい授業」を目指して、1年で23の授業公開を行った。多くの授業実践に触れ、具体的な子どもの姿を通して、これまでの自分の授業を見直したり、新たな気付きがあったりと、授業力向上につながった。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査の児童質問紙の結果から、「PC・タブレットなどのICT機器を用いて、友達と協力しながら学習を進める」ことに肯定的な回答が全国に比べて多く、他者と共に協働的に学ぶ力が育ってきている</p>
	<p>◇「自分の意見を進んで発言しようとしている。」という共通指標アンケートの質問において肯定的な答えの割合が77.7%、「意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている。」には82.3%と、話すことや書くことに対する自己評価が他の質問に比べて低い傾向にある。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査の児童質問紙の結果から、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。」児童の割合が、全国平均に比べて低い数値である。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p>	
<p>◇ 令和7年度札幌市全体の共通指標アンケートでは、「人の役に立ててうれしいと感じることがある。」「人の役に立つ人間になりたいと思う。」において肯定的な回答が94.0%、95.7%と自尊感情の高さが見られる。対して、「自分が必要とされていると感じる」では、81.0%と低い数値がみられた。自己有用感を高める取り組みが必要と考える。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

主体的に考え、個別に探究し、協働で学びを深める力（研究副主題）

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	<p>(1)研究主題「教師の共創で高める、教育効果の高い学校研究」に基づき、教育効果の高いものに取組を精選することでゆとりを見だし、日常実践の充実と向上を目指す。</p> <p>(2)授業づくりの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体性を生む見通しの工夫(イントロダクション) ・自分の考えをもち、交流を通して考えを深める個別探究と協働探究の在り方(アクション) ・子どもが自らの学びや成長を確かめる振り返りの在り方(リフレクション) 	<p>① 共通指標アンケートの結果を各委員会の委員長たちに提示することで、挨拶や読書等に課題があることを共有する。</p> <p>② 「〇〇月間」と称し、あいさつ、素敵な言葉遣い、給食、読書について重点的に取り組む期間を設定する。「<u>どうやったら東札幌小学校のあいさつがもっと素敵になるか</u>」「<u>どうやって読書を広めていくか</u>」などについて考えを交流し、子どもの声を基に活動を工夫させることで、自主的な活動を推進していきたい。</p>
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p>		
<p>◇ 主に(2)において、自ら課題を見付けて情報を収集・整理しながら、課題探究的に学ぶ力を育成する。委員会活動では Google スライドを活用し、振り返りを蓄積することで、自身の成長を振り返られるようにする。</p> <p>◇ 主に(2)や②において、調べたことや伝えたいことをプレゼンテーションとして発信する活動を行う。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

